

働き方改革は全員が担当者

みんなのウェルビーイングの実現のために

生成AIを始めとする情報技術の急速な進展は、社会構造を大きく変えようとしています。子どもたちが身につけるべき「学力」も当然変わり、教師には「学力観の転換」や「授業観の転換」が求められています。さらに、増加する不登校やいじめなど今日的課題への対応には、教師が子どもや家庭と真摯に向き合い、丁寧に話を聞くプロセスが不可欠です。

そこで、子どもたちの未来を支える教師には、これまで以上に授業改善や子どもたちに寄り添うための「時間の確保」が必要になります。山梨県教育委員会では、教師が最も大切にすべきこれらの業務に一層力を注げるよう、学校における働き方改革を進めています。

この改革は、教師が心身にゆとりを持って、授業の工夫や児童・生徒指導に当たることで

- ・授業の質の向上
- ・一人ひとりに応じたきめ細かな指導
- ・安心して学べる学校づくり
- ・いじめや不登校の未然防止や早期対応

につなげ、子どもたちにとってより良い教育環境を実現するための取組です。

また、これまで慣例的に学校や教師が担ってきた業務の中には、地域や関係機関、専門スタッフとの連携や役割分担により、効果的かつ持続可能となるものもあります。文部科学省が示す「学校と教師の業務の3分類」（裏面）は、そのための考え方を整理したものです。

子どもたちの豊かな学びと成長を支えるためには、家庭や地域の皆様との連携が欠かせません。この取組の趣旨を御理解いただき、引き続き御支援・御協力をお願いいたします。

山梨県教育長 荻野智夫



<山梨県教育長>
おぎの ともお
荻野 智夫

「学校と教師の業務の3分類」とは・・・

①学校以外が担うことが望ましい業務

- ・登下校の見守り
- ・放課後や夜間の見回り
- ・学校外でのトラブル対応
- ・集金や会計の管理

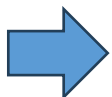


学校だけで抱えるのではなく、地域や関係機関と連携・分担して進めていきます。



②教師以外の職員・地域が積極的に関わる業務

- ・学校HPや広報作成
- ・ICT機器や学校施設の管理
- ・休み時間の安全配慮
- ・校内清掃や部活動指導



専門スタッフに加えて地域の方も活用し、チーム学校で支えていきます。



③教師が行うが、負担軽減を進める業務

- ・授業準備（印刷などの補助）
- ・採点や成績処理
- ・学校行事の準備
- ・支援が必要な児童への対応



補助スタッフの活用やデジタル化により、教師の負担を軽減していきます。



保護者・地域の皆様へお願い

今後、学校の対応の簡素化や一部変更が考えられますが、それは教育の質を高めるための取組と御理解ください。働き方改革の趣旨をお酌み取りいただき、次の点について、皆様の御協力をお願いします。

- ・学校だけでなく、**地域全体で子どもを見守る**という考え方への御理解
- ・内容によっては、**学校以外の相談先や関係機関に対応をお願いする場合があることへの御理解**
- ・教師が子どもと向き合う時間を確保するための、**業務の効率化（デジタル化や簡素化）への御協力**

教師の創意工夫の時間を生み出し、子どもの主体的な学びを後押しします

みんなのウェルビーイングのために、**学校の働き方改革を応援してください！**

県PTA協議会及び県高等学校PTA連合会も、子供たちの豊かな成長のために、学校の働き方改革に賛同しています。